

平成19年度「全国学力・学習状況調査」結果の分析による 指導改善の方策について

平成19年度「全国学力・学習状況調査」における本市の結果については、すでに、その概要を報告しておりますが、この度、さらに詳細な分析と改善の方策を示すため、本報告をまとめました。

今後、本市の子どもたちの学力向上に向け、学校、家庭、地域が一層連携を深め、一体となった取り組みが進められるよう、本報告の活用を期待しております。

- | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-------|
| 1 学力状況について | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1ページ |
| (1) 調査結果の分析は、本市としての正答率が、80%以上の場合には「定着」、60%以上80%未満の場合には「概ね定着」、60%未満の場合には「改善が必要、課題がある」とした。 | | |
| (2) A(主として知識に関する問題)については、学習指導要領の領域ごとに記述した。また、「設問番号」とその出題の趣旨、「本市の傾向」「改善の視点と留意点」で構成した。 | | |
| (3) B(主として活用に関する問題)については、主な問題の傾向から記述した。また、「設問番号」とその出題の趣旨、「改善の視点と留意点」で構成した。 | | |
| 2 学習状況について | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 30ページ |
| (1) 「学習状況」については、全国と比較し、課題としてとらえられる項目、また、本市の子どものよさや取り組みの効果が表れていると考えられる項目について帯グラフで示すとともに、学力との相関が顕著な項目について、棒グラフで示した。 | | |
| (2) 学力との相関関係の分析については、教科に関する調査における生徒の正答数とのクロス集計の結果を使用している。 | | |
| 3 学力向上に向けた今後の取り組み | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 46ページ |

平成20年3月

函館市教育委員会

小学校「国語」A（主として知識に関する問題）

話すこと・聞くこと

設問番号	出題の趣旨
6	・話の要点を聞き取り，効率よくメモをとる。
7	・聞き手にとってわかりやすいスピーチにするために大切なことを理解している。

「話すこと・聞くこと」については，他の領域に比較し，特に改善が必要である。

指導に当たっては，各学年の指導の重点や系統性に配慮し，「聞きたい」とか「聞かなければならない」といった必要感のある場や学習活動の中で，メモを取る場面などを意図的に設定したい。

改善の視点	留意点
<p>内容や形式を工夫してメモを取らせる。</p> <p>目的に応じたメモの取り方を指導する。</p> <p>経験を積ませ，メモをとる習慣を身に付けさせる。</p> <p>聞き手を意識した話し方を指導する。</p> <p>題材に対する思いや願いを大切にさせる。</p> <p>様々な場でのスピーチを経験させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な語句や内容を中心とした見出しを書かせる。 ・5W1Hや時間軸をもとにしたメモを取らせる。 ・聞き取ったメモをもとに話したり，書いたりすることで，話し合う力や書く力と結びつけた指導を重視する。 ・様々な学習活動の中で，メモを取る場面を意図的に設定したり，奨励したりする。 ・相手や目的，場面や条件に応じて話の内容や構成の仕方を工夫できるよう指導する。 ・感想や紹介，説明などの典型的な形式を示し，それを意識したスピーチを練習，経験させる。 ・声量，速度，間など，音声面の具体的な観点を示し，その変化が聞き手にどのような影響を与えるかを実感させる。 ・学年や時期に合わせ，児童の興味・関心を高めるような題材を設定する。単元の構成を工夫するなど，年間を見通した計画を立てる。 ・身に付けた力を確かなものにするために，各教科等との関連を図り，数多くの場面で経験させる。

書くこと

設問番号	出題の趣旨
8	・目的や様式に応じて必要な事柄を選んで、文章を書き換えることができる。

「書くこと」については、定着が図られている。
 指導に当たっては、様々な文章や資料に触れながら、目的をよく考え、自分の考えを自分の言葉で効果的に表現する活動を計画に取り入れることが大切である。

改善の視点	留意点
<p>書く事柄を整理する力を高める。</p> <p>目的や意図に応じた書き方を指導する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取材した素材について必要な事柄を選択させ、優先順位を付けて整理させる。 ・他の教科等や日常生活において、目的や意図に応じて身に付けた知識を活用して書く活動を経験させる。 ・まとまりのある文章を箇条書きにしたり、形式段落に小見出しを付けたりしながら、端的に表現する力を高める。

読むこと

設問番号	出題の趣旨
9	・説明文の段落の内容をとらえることができる。
10	・物語文の登場人物の心情について、表現や叙述に即して読むことができる。

「読むこと」については、概ね定着が図られている。
 指導に当たっては、様々な読み物に触れ、文章中の言葉を手がかりとして、場面の情景や登場人物の心情を想像したり、自分の言葉で再構成する学習や、人物像を自分の言葉でまとめたりする学習の重視が必要である。

改善の視点	留意点
<p>文相互の関係や段落相互の関係をとらえる力を高める。</p> <p>叙述や描写に即して、登場人物の心情等をとらえる力を高める。</p> <p>読書体験を充実させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・段落のはじめにある接続語などをもとに、全体の中での役割や働き、さらに、繰り返し使われる中心語句や中心文をもとに、文と文との関係をとらえさせる。 ・会話や行動、心情などの描写を手がかりに、登場人物の心情の変化をとらえさせるとともに、情景描写に着目させ、巧みな構成や表現に目を向けさせる。 ・多様なジャンルの作品に触れさせるとともに、自分の読書体験などを振り返らせて、読書の経験を広げさせる。

言語事項

設問番号	出題の趣旨
1	・当該学年までの漢字を正しく読み，書くことができる。
2	・文と文との意味のつながりを考えながら，接続語を正しく使うことができる。
3	・指示語の種類や役割を押さえた上で，文脈の中における働きを理解している。
4	・調べたい事柄について，辞書を効率よく利用できる。
5	・物語の主人公について，一文で書かれた内容を理解し，一文を二文の構成にして書き換えることができる。

「言語事項」については，定着が図られている。

日常生活で使用頻度が低いと思われる漢字の書き（「相談」）に課題があり，ドリル的な練習と合わせ，書写と関連させた筆順の指導，漢字の成り立ちや構成についての指導を充実させたい。

改善の視点	留意点
<p>文脈に沿って指示語を適切に使う力を高める。</p> <p>辞書を積極的に活用する習慣を身に付けさせる。</p> <p>文及び文章の構成を理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチや作文などの表現活動を通して，指示語が示す事柄や文と文，段落と段落の結びつきについて考えさせる。 ・辞書の使い方を指導するとともに，他教科等と関連させながら，情報を活用する能力を高める。 ・文中の語句のはたらきを理解させ，いろいろな文の構成があることを理解させる。 ・文章の構成について学ぶ学習をもとに，自分が表現する際に，目的や意図に応じた構成となるよう指導する。

小学校「国語」B（主として活用に関する問題）

話し合いを計画的に進める

設問番号	出題の趣旨
1ー,1二	・司会の役割や働きを理解し、話し合いを効果的に進めることができる。

話し合いを計画的に進めることについては、概ね定着しているが、様々な場面で司会ができるよう、提案や意見、理由や根拠、多様な立場などを聞き分けたり、整理することができるよう、多くの子どもに経験させる工夫が大切である。

改善の視点	留意点
司会者の役割や働き，具体的な進行の方法を理解させる。	・司会者の役割や働きを理解させ，手順や方法を教え，経験を積ませるとともに，モデルを示し，身に付けるべき力を児童に実感させたい。
話すこと・聞くことの力を高める。	・事実と意見を区別すること，結論から先に述べることなど，話の組立や効果的な進行を工夫させる。 ・事実と意見を聞き分けたり，自分の考えとの共通点や相違点を考えさせたりする。
様々な学習の中で話し合う力を高める。	・話し合うことの必要感や必然性が実感できる話し合いの場の設定を工夫するとともに，異なる立場や主張が生まれやすい課題やテーマを設定し，話し合いの活性化を図る。

新聞記事を書く

設問番号	出題の趣旨
2(二), 2三(1), 2三(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・文章とグラフにまとめられた事実を関係付けて読むことができる。 ・取り上げた事実が、どのような理由で述べられているかについての的確に読み、その理由を要約することができる。 ・情報の中から必要な事柄を取り出し、新聞の一部に注意点として書き換えることができる。 ・自分の考えを決められた字数で、記事として具体的に提案することができる。

特に、取り上げた事実が、どのような理由で述べられているかについて、その理由を要約することに課題があり、段落と段落の相互関係や文章全体の構成などを踏まえて要約する学習の工夫が大切である。

改善の視点	留意点
<p>条件に応じて書く力を高める。</p> <p>複数の文章や資料を関係付けて読む力を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図表やグラフから読み取ったことをもとに、自分の意見をまとめさせる。 ・字数や文の数などの分量、自分の意見やその根拠の組立など、様々な条件の下で書く学習を工夫する。 ・読み返して推敲したり、相互に読み合って評価したりするなど、書いたものを吟味・検討する習慣を身に付けさせる。 ・文章だけでなくグラフや図表といった複数の資料を調べ、必要な情報を取り出したり、要約したりする学習を工夫する。 ・文章で説明されている事柄を、図表やグラフの形式に整理する学習を取り入れる。

比べて読む

設問番号	出題の趣旨
3- (1), 3- (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二つの文章を比べて読み，共通する書き方のよさや工夫を評価し，自分の考えとしてまとめることができる。

二つの文章を比べて読み，そのよさや工夫を評価することについて課題があり，複数の資料や文章を取り上げ，観点を設定して比べて読む言語活動や気づいたことや考えたことを簡潔にまとめる学習などの工夫が大切である。

改善の視点	留意点
<p>比べて読む力，評価しながら読む力を高める。</p> <p>多様な文章や資料に応じて効果的に読む力を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の文章の内容や表現を評価したり，批判したりする活動を工夫する。 ・ 教科書のほか，新聞や雑誌，映像など，多様な資料や文章を読む機会を意図的に設ける。 ・ 同一テーマをメディアによってどのように表現しているかを比べさせるなど，それぞれの表現様式の違いから，その効果や特徴をとらえさせる。

情報を読み取る

設問番号	出題の趣旨
4一，4二	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広告の情報を的確に読み取り，正しく説明することができる。 ・ 客に対する勧誘の表現や敬意表現を適切に用いることができる。

特に，広告の情報を的確に読み取り，正しく説明することに課題があり，日常生活で触れる様々な情報から，細部にわたって数値や重要な語句などを注意深く，的確に読み取る学習などの工夫が大切である。

改善の視点	留意点
<p>文章や資料の様式に応じて，情報を的確に読む力を高める。</p> <p>敬語の使い方に慣れさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ いくつかの広告を比較し，それぞれの特徴を見付けたり，広告ちらしやカタログ，パンフレット，プログラム，説明書など，児童の実生活に結び付いた多様な資料を活用する。 ・ 課題やテーマに応じて，同じ目的や用途を持つ複数の情報について，妥当性や信頼性，説得力などの観点で比較したり，評価したりさせる。 ・ 相手と自分の関係を意識できるよう，場の設定を工夫し，敬語について指導する。 ・ 学校生活や家庭生活，また，校外学習などにおける身近な大人との会話や接し方などについて考えさせる。

小学校「算数」A（主として理解に関する問題）

数と計算

設問番号	出題の趣旨
1, 2, 3, 4	<ul style="list-style-type: none"> ・整数，小数，分数の計算ができる。 ・四則の混合した計算をすることができる。 ・分数や小数の意味と表し方について理解している。 ・小数の乗法の意味について理解している。

「数と計算」については，概ね定着が図られている。しかし，整数と小数の除法，加法と乗法の混合した整数と小数の計算，また，小数の乗法については十分に理解できていない児童がみられる。日常の授業において，算数的活動を取り入れながら計算の仕方を考えさせることが必要である。

改善の視点	留意点
<p>小数の乗法，除法の計算の仕組みを理解できるようにする。</p> <p>分数の意味と表し方について，理解を深める。</p> <p>小数の乗法，除法の判断ができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ $12 \div 0.6$ の場合， 120×6 の積が求める積の10倍であることを根拠に，整数の計算の仕組みと関連付けて考えられるようにする。 ・ 分数を面積図やテープ図に表す場合の多様な表し方を，算数的活動を通じて実感させ，算数に対する感覚を豊かにする。 ・ 簡単な数に置き換えて数量関係を考える。 ・ 「倍」という表現を含む文章では，何が基準量になっているかを確認したり，数直線や図に表したりして数量関係をとらえやすくする。

量と測定

設問番号	出題の趣旨
5	・基本的な平面図形の面積の求め方を理解している。

「量と測定」については、定着が図られている。しかし、円の面積を求める公式は、十分に理解できていない児童がみられる。日常の授業において、算数的活動を取り入れながら計算の仕方を考えさせることが必要である。

改善の視点	留意点
公式を用いて図形の面積を求める場を工夫し、確実に理解させるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な図形を提示して、その図形から底辺や高さ、半径など、それぞれの図形に応じて、面積を求めるために必要な数値を読み取る活動を取り入れる。 ・根拠となる公式を書いたり説明したりして、公式を使うよさを味わう活動を繰り返し取り入れる。

図形

設問番号	出題の趣旨
6	・基本的な平面図形の性質について理解している。

「図形」については、定着が図られている。
今後、図形の定義や性質に関する、より確かな知識・理解の定着が求められる。

改善の視点	留意点
<p>実感を伴う算数的活動を取り入れ、基本的な平面図形の性質を見い出し、理解できるようにする。</p> <p>図形の定義や性質を基にして、図形を作図できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな三角形を作図して角の大きさを測定したり、三つの角を切り取って寄せ集めたりするなど、操作的活動を充実し、三角形の性質を理解させる。 ・図形の定義や性質に基づいて図形を作図したり、構成したりする活動をする。

数量関係

設問番号	出題の趣旨
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伴って変わる二つの数量について，関係を表にまとめたり，変化の規則性を読み取ったりすることができる。

「数量関係」については，概ね定着が図られている。今後は，目的に応じてどのようなグラフを作成すればよいかを考え，自分たちの生活に活用しようとする態度を育てるなど，日常の授業において，効果的に算数的活動を取り入れながら計算の仕方を考えさせることが大切である。

改善の視点	留意点
関数の仕組みについて理解させ，様々な事象の考察に関数の考えを用いることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作表などを通じて，変化や対応の規則性を確実に読み取るなど，その規則性があることに気付かせるようにする。 ・ 関数の考えを生かしていくために，ある場面での事柄が，他のどんな事柄と関係するかに着目すること，変化や対応の特徴を表やグラフなどに表して調べること，見出した規則性を，様々な問題解決に生かしていくことなどに配慮する。

小学校「算数」B（主として活用に関する問題）

物事を観察し，的確にとらえる

設問番号	出題の趣旨
1, 3, 5	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な図形の面積を求めたり，その根拠を説明できる。 ・棒グラフや帯グラフから変化の様子を読み取ることができる。 ・地図上から必要な図形を見出し，必要な情報を選択することができる。

特に，帯グラフから割合の変化の様子を読み取ることに課題がある。様々なグラフから数量の大小を読み取る活動や目的に応じて，最大値や最小値をとらえたり，全体的な特徴を読み取る活動を工夫することが大切である。

改善の視点	留意点
<p>基本的な図形の面積を求める公式を理解させる。</p> <p>目的に応じて，グラフが表す情報を読み取ることができるようにする。</p> <p>図形を構成したり観察したりする活動を通して，図形に関する感覚を豊かにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な図形を提示して，その図形から底辺や高さ，半径など，それぞれの図形に応じて，面積を求めるために必要な数値を読み取る活動を取り入れる。 ・グラフの指導に当たって，数量の大小を読むだけでなく，目的に応じて，最大値や最小値をとらえたり，項目間の関係，集団のもつ全体的な特徴などを読み取る活動を取り入れる。 ・地図など身の回りの事象から図形を見出し，図形の性質を用いて問題を解決するなど，日常生活に見られる様々な形と学習した図形を関連付けて考えられる学習を工夫する。

分類整理し，選択する

設問番号	出題の趣旨
3, 4, 5	<ul style="list-style-type: none"> ・棒グラフや帯グラフから変化の様子を読み取ることができる。 ・与えられた条件をもとに情報を選択し，筋道を立てて考えることができる。 ・地図上から必要な図形を見出し，必要な情報を選択することができる。

様々な表やグラフを活用し，既習のグラフと関連づけて考えることなどに課題があり，回答の根拠を表やグラフで説明するなどの学習の工夫が大切である。

改善の視点	留意点
<p>様々なグラフを関連付けて，グラフの特徴を理解できるようにする。</p> <p>百分率の意味を理解し，それを問題解決に用いることができるようにする。</p> <p>与えられた情報から必要なものを選択できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいグラフを学習する際に，既習のグラフと関連付けて，それらのグラフの特徴を理解できるようにする。 ・第5学年の帯グラフの指導に当たっては，第3学年の棒グラフと対比して学習するなど，指導の系統性を生かした学習を進めることも考えられる。 ・小数や分数の仕組み，また，それぞれの関係を理解させるとともに，線分図などを用いて数量の関係をとらえやすくする。 ・身近なところから基本的な図形を見付け，その面積を求めなど，算数的活動を活用し，問題の解決のために必要な情報を選択する活動を取り入れる。

筋道を立て、振り返って考える

設問番号	出題の趣旨
1, 4, 6	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な図形の面積を求めたり、その根拠を説明できる。 ・与えられた条件をもとに情報を選択し、筋道を立てて考えることができる。 ・式の形に着目して計算結果の大小を判断し、根拠となる考えを説明することができる。

問題の条件を整理して、筋道を立てて考えることに課題があることから、解決する過程を式や言葉、図で書いたり、複数の条件を含んだ場面をもとに、図表を活用して条件を整理するなどの学習の工夫が大切である。

改善の視点	留意点
<p>筋道を立てて考えることができるようにする。</p> <p>筋道を立てて考え、その考えを説明できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決に当たって、与えられた条件や問題を解決する過程を式や言葉、図で書いたりする。 ・問題が解決できなかつたり誤答したとき、自分が考えた筋道を振り返らせて、どこでつまづいたのか、どこで間違えたのか、ということに気付かせる。 ・自分の考えを、根拠を示しながら説明できるようにする活動を取り入れる。 ・これまで学習したことや、すでに分かっていることをもとにして、根拠を明らかにしながら説明する活動を取り入れる。

数学的に解釈し，表現する

設問番号	出題の趣旨
2, 5	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解決するために，言葉や式を用いて数学的に表現することができる。 ・地図上から必要な図形を見出し，必要な情報を選択することができる。

特に，計算の工夫を読み取り，それを用いて異なる数値の問題の解決方法を説明することに課題があり，誤っている部分がある式を示し，その誤りを説明したり，計算の工夫を言葉で説明したり，式で正しく表すなどの学習の工夫が大切である。

改善の視点	留意点
<p>言葉や式を用いて説明できるようにする。</p> <p>数を多面的に見ることができるようにする。</p> <p>図形の性質を理解し，日常生活の問題解決に活用できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現力を育成するためには，言葉や式などを用いて説明する活動を丁寧に行う。 ・学び合いの中で，複数の解答の仕方がある課題を提示し，その解法を言葉で説明したり，式で正しく表したりする。 ・計算の仕方を発見したり，計算の工夫をしたりするためには，数を多面的に見る見方が重要である。 ・図形の性質を理解し，日常生活に見られる様々な形と関連付けて考えられるようにする。 ・日常的な場面において，平面図形の性質を用いて考察し，問題を解決する場面を取り入れる。

中学校「国語」A（主として知識に関する問題）

話すこと・聞くこと

設問番号	出題の趣旨
1	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手を意識して、使用する語句を工夫することができる。 ・話し手の意図を理解し、内容にふさわしい題名を付けることができる。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える必要のある内容を簡潔にまとめることができる。 ・不足している情報に気付き、適切な表現で話し手に確かめることができる。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に沿った質問をすることができる。 ・効果的なインタビューの仕方について理解している。

「話すこと・聞くこと」については、定着が図られている。

指導に当たっては、話のテーマや話題に合わせて話したり、聞くための観点を示すことや、メモを取って情報を整理しながら聞くこと、相手の意見を聞くことによって自分の考えを深めることなどに配慮する必要がある。

改善の視点	留意点
<p>相手意識，目的意識を明確にした話し方を指導する。</p> <p>話の要点を聞き取る力を高める。</p> <p>効果的なインタビューにするために，必要な要素や態度等について学習する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・立場や主張，理由，一文の長さなど，論点を明確にし，聞き手を意識した構成を工夫させる。 ・話し言葉と書き言葉の違いなど，言語事項と関連づけて指導する。 ・事実と意見を聞き分けるなど，必要に応じてメモを取る練習を繰り返し行う。 ・内容を正確に聞き取り，不足している情報，不明な点，疑問な点について，相手に尋ねたり調べたりする活動を取り入れる。 ・目的に応じて質問を考えること，また，自分の考えと比べながら質問するための準備をさせる。 ・言葉遣いや態度など，マナーを含めた相手意識をもたせる。

書くこと

設問番号	出題の趣旨
2	・手紙の形式（頭語・結語，主文，後付けなど）について理解している。
7	・グラフから情報を読み取り，文章の結論につながるように書くことができる。

「書くこと」については，概ね定着が図られている。

今後は，述べられている事柄を相互に関連づけて解釈したり，それらを総合して自分の考えや生活経験と結び付けたりして書く力を育成することが必要である。そのために，必要な材料を基にして自分の考えをまとめ，自分の言葉で再構成することなどを計画的に指導する必要がある。

改善の視点	留意点
手紙の形式について学んだことを生かした学習を計画する。	<ul style="list-style-type: none"> ・頭語・結語，主文，後付けなどの形式を指導するだけでなく，相手に対する意識について考えさせる。 ・総合的な学習の時間や学校行事との関連を図り，学んだことを生かす場面を意図的・計画的に設定する。
統計資料などのデータを読み取り，それをもとに自分の考えを書く力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・データの背景に注目させ，複数の視点でデータを考えるようにさせる。 ・グラフやデータが示された説明文を読む学習を通して，文章の記述とグラフなどとの関係について考えさせる。

読むこと

設問番号	出題の趣旨
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文脈における自然描写を的確に読み取ることができる。 ・ 比喩等の表現技法に注意して内容をとらえることができる。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詩の韻律（リズム）について理解している。 ・ 歴史的な仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができる。 ・ 語句の意味に注意して内容を読み取ることができる。

「読むこと」については、概ね定着が図られている。

今後の指導の改善に当たっては、様々な種類の文章を読み、言葉や文章に対する興味・関心を高めるとともに、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身に付けさせることを重視したい。

改善の視点	留意点
<p>文脈における語句の意味について考えさせる。</p> <p>学んだ表現技法を、自分の文章に生かす意識を育てる。</p> <p>古典学習の導入にあたり、文語調の文章に親しませる指導を工夫する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然や情景描写，行動描写，会話文など，文章中の語句について，辞書的な意味だけでなく，文脈における意味を考えさせる。 ・ 様々な表現技法に触れさせるだけでなく，作文などを通して，それらを自分の表現に生かす指導を展開する。 ・ 韻文としての詩歌だけでなく，校歌の歌詞や標語など，古典文学における語彙やリズムが，現代にも受け継がれていることに気付かせる。 ・ おとぎ話や笑い話の原典に触れさせるなど，古典を身近に感じさせる指導を工夫する。

言語事項

設問番号	出題の趣旨
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文脈に即して漢字を正しく読み，書くことができる。 ・ 語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使うことができる。 ・ 行書の書き方を理解している。

「言語事項」については，概ね定着が図られている。

漢字を書く力を高めるために，繰り返し学習のほか，部首を含めた漢字の成り立ちや熟語の構成について考えさせるなど，学習への関心を高めることが必要である。

また，語句の意味用法や基本的な文法事項については，日常における使用場면을例に挙げるなど，学習の必要性を実感させる指導を工夫したい。

改善の視点	留意点
<p>3つの内容を通して，多様に表現される語句の意味や用法，目的に応じた形態や展開の違いなどに，関心を高められるよう工夫するとともに，具体的な活用について理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常における使用場面や実際の言語活動を想定した指導を工夫する。 ・ 国語の時間だけでなく，各教科等や日常生活を通して，文字に対する意識や語句の活用についての意識を高める。 ・ 文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに，書写の能力を生活に役立てられるよう機会を工夫する。

中学校「国語」B（主として活用に関する問題）

調べたことを発表する

設問番号	出題の趣旨
1	<ul style="list-style-type: none"> ・話すことの内容に応じて、適切な資料を提示することができる。 ・必要な情報を収集し、表現に生かすことができる。 ・情報をもとに根拠を明らかにしながら、自分の考えが適切に相手に伝わるように書くことができる。

特に、二つの資料を読み比べ、共通点を見つけ出すことは、定着している。

一方、根拠を明らかにしながら、自分の考えが適切に相手に伝わるように書くことについては、概ね定着しているが、中心となる主張を明確にすることや、具体的な資料を活用して主張の裏付けとなる根拠を明らかにする指導が必要である。

改善の視点	留意点
<p>資料を収集し、効果的に活用する力を高める。</p> <p>自分の意見や考えをより効果的に伝える力を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な資料を収集し、そこから自分が必要とする情報を取捨選択したり、加工したりする活動を工夫する。 ・課題に対して、一つの情報だけでなく複数の情報を吟味しながら、自分の考えをまとめていく学習を工夫する。 ・相手意識や目的意識を明確にもたせ、理由や根拠を明らかにして自分の考えや意見を伝える学習を工夫する。 ・客観的な事実やデータのもつ説得力について、実感させる。 ・目的や条件に応じて絵やグラフ、写真や実物などを効果的に活用させる。

作品を評価しながら読む

設問番号	出題の趣旨
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品の内容や表現上の特徴をとらえることができる。 ・ 作品の展開や心情の変化に着目して朗読することができる。 ・ 作品の内容や構成，表現上の特色を踏まえ，自分の考えを書くことができる。

文学作品について，作品の内容や表現上の特徴をとらえることや人物の心情の変化に着目して読むことなどは，概ね定着しているが，作品の内容や構成などを踏まえ，自分の考えを書くことには課題があり，無答率も高い。本文を引用するなど，根拠を示し説得力を持たせて筋道立てて書く指導を工夫する必要がある。

改善の視点	留意点
<p>内容・表現・構成に着目して文学作品を読み取る。</p> <p>速度や音量，言葉の調子や間の取り方に注意して朗読を工夫させる。</p> <p>自分の考えが効果的に伝わるよう根拠を明らかにして書くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表現や構成，登場人物の人物像などの特色について取り上げ，その効果について話し合わせる。 ・ 場面にふさわしい朗読を工夫する活動を通して，表現や構成の特色に気付かせる。 ・ 異なる立場や主張が生まれやすい課題やテーマを設定し，文章中の表現を根拠に自分の考えをまとめる学習を工夫する。 ・ 書きまとめたものを交流し合い，深められたり，広げられたりした自分の考えを，もう一度書き，さらに交流する。

複数の資料を比較しながら読む

設問番号	出題の趣旨
3	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の仕方の特徴をとらえることができる。 ・広告カードを比較して、共通して書かれている情報を読み取ることができる。 ・資料に表れているものの見方や考え方をとらえ、伝えたい事柄や考えを明確にして書くことができる。

特に、資料に表れているものの見方や考え方をとらえ、伝えたい事柄や考えを明確にして書くことについては課題があり、複数の資料を比較して、共通点や相違点を整理した上で自分の考えを発表させるなど、目的に応じて、活用する力を身に付けさせる必要がある。

改善の視点	留意点
<p>情報を整理・活用する力を高める。</p> <p>図書館を積極的に活用するなど、読書に親しませる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の文章や資料を取り上げ、その共通点や相違点を整理し、考えを発表し合う学習を工夫する。 ・新聞記事や広告など、複数の資料を目的に応じて取捨選択し、自分の表現に生かす学習を工夫する。 ・広告カードの作成のほか、ブックトークや書評作成など、図書館の活用に対する関心を高め、読書に親しむことができる機会を工夫する。

中学校「数学」A（主として知識に関する問題）

数と式

設問番号	出題の趣旨
1, 2, 3	<ul style="list-style-type: none"> ・分数の除法の計算や、正の数と負の数の四則計算ができる。 ・正の数と負の数の大小関係を理解している。 ・文字式の計算や、文字式の意味のよみとりができる。 ・等式を目的に応じて変形できる。 ・方程式の移項と等式の性質の関係を理解している。 ・一元一次方程式や連立二元一次方程式を解くことができる。 ・具体的な場面で、連立二元一次方程式を立式することができる。

「数と計算」については、概ね定着が図られている。

$2x + 3y = 9$ を目的に合うように変形する設問や、一次方程式を解く際に移行の意味を選択する設問に課題がある。具体的な事象において、式を変形する活動を通して、そのよさを実感したり、誤答部分を丁寧に確認する学習などが大切である。

改善の視点	留意点
<p>指数の意味や計算の順序を理解し、確実に計算できるようにする。</p> <p>数量の関係を文字式で表したり、その文字式の意味を読み取ることができるようにする。</p> <p>目的を明確にして等式を変形することができるようにする。</p> <p>具体的な問題の解決に方程式を利用するために、方程式の立式ができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誤りのある計算例を取り上げて、計算方法を確認するなど、計算の順序を理解し、確実に計算できるように指導する。 ・等式の変形を形式的に行うだけでなく、例えば、長方形の面積を求める公式 $S = ah$ (aを底辺, hを高さとする。)を底辺 aについて解いた式 $a = h/S$ に変形することに重点をおくなど、具体的な場面で目的に応じて、式を変形できるようにする。 ・問題の意味を十分に理解させ、何を求めるのかを確認する。ある特定の量に着目し、「問題文中にある1つの数量を2通りの表し方で表現することができないか」などの問いかけをするなど、生徒が数量関係を等式に表すことができるようにする。

図形

設問番号	出題の趣旨
4, 5, 6, 7, 8	<ul style="list-style-type: none"> ・線対称な図形の対称軸を理解している。 ・角の二等分線の作図の手順を理解している。 ・空間における直線や平面の位置関係について理解している。 ・平面図形の運動による空間図形の構成について理解している。 ・平面上での空間図形の表現(見取図 展開図)について理解している。 ・柱体と錐体の体積の関係について理解している。 ・平行線の性質や円周角の性質を用いて, 角の大きさを求めることができる。 ・記号で表された図形の構成要素間の関係を読み取ることができる。 ・証明の意義について理解し, そこに用いられている三角形の合同条件を理解している。

「図形」については, 概ね定着が図られている。

記号を用いて表された辺の位置関係や相等関係の意味の理解に課題がある。証明の意義や具体的な活用に課題があり, 操作活動など, 作図の意味やよさにふれる機会を大切にしていきたい。

指導の重点	留意点
<p>線対称な図形と対称軸との関係を理解できるようにする。</p> <p>作図で用いた図形の特徴から, 作図の手順を見直すことができるようにする。</p> <p>空間における直線や平面の位置関係を理解できるようにする。</p> <p>見取図や展開図の特徴とその関係について理解できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・線対称な図形や点対称な図形の性質を見付けるために, 半具体物を活用するなど, 数学的活動を工夫し, 対象な図形と対称軸や対象の中心との関係を考察する場面を設定する。 ・角の二等分線の作図を指導するに当たっては, 線対称な図形とその対称軸の関係を理解し, 見通しをもって作図ができるようにする。 ・空間図形を見取図を見て考えるだけでなく, 模型等を活用し, 様々な角度や視点から観察する。 ・コンピュータなどを活用し, 面や線の運動について視覚的に理解できるようにする。 ・実験や実測を通して, 体積の量感を確実に身に付けられるようにする。

<p>辺や角などについての関係を表す記号の意味を正しく読み取ることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定や結論などを記号で表し，証明を構想したり，構成したりすることや，記号から内容を理解することを通して，自分の考えを深め，正しく相手に説明できるようにする。
<p>証明の意義について理解できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ある図形について証明された性質は，同じ条件を満たす全ての図形について例外なく成り立つことを理解させるため，証明した後で，条件に合う別の図でも証明が成り立つことを確認する学習などが有効である。
<p>三角形の合同条件を理解し，推論の根拠として活用できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の合同条件を成立させる3つの要素を，図に示した三角形で記号や印を使って示したり，2つの要素を与え，合同になるために必要な残り1つ要素を考えたりする。 ・合同な三角形を推論の過程に位置付けられるようにするには，過程と結論を理解し，証明の対象となる三角形を見い出すことが大切である。

数量関係

設問番号	出題の趣旨
9, 10, 11, 12, 13, 14	<ul style="list-style-type: none"> ・一次関数(比例)の意味を理解し, 一次関数(比例)のグラフの特徴をとらえることができる。 ・反比例の表やグラフの特徴をとらえることができる。 ・時間と距離の関係を表したグラフから速さを求めることができる。 ・連立二元一次方程式の解は, 2直線の交点の座標として求められることを理解している。 ・確率の意味について理解し, 場合の数を求めることができる。 ・平均の意味について理解している。

「数量関係」は概ね定着が図られているが, さらに改善が必要である。
 特に, 時間と水温の関係を理想化したり, 単純化して一次関数を説明すること, また, 一次関数を利用して, グラフに示されていない数値の求め方や, その説明に課題があり, 無答率も非常に高い。

指導の重点	留意点
<p>表やグラフに表すことのよさを実感できるようにする。</p> <p>速さの意味についての理解を深められるようにする。</p> <p>二元一次方程式を x と y の関数関係を表す式としてとらえられるようにする。</p> <p>起こり得る場合の整理の仕方を考えることができるようにする。</p> <p>資料を代表する値としての平均の意味と役割について理解できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対応する x, y の値の組を座標とする点を座標平面上に多数とり, 変化や対応の特徴をとらえ, 2点を結ぶことの意味を理解できるようにする。 ・必要に応じて, 一定時間に移動した距離によって速さを比較したり, 距離を一定にしたときの移動にかかる時間によって速さを比較したりするなど, いろいろな視点から速さをとらえることができるようにする。 ・二元一次方程式 $ax + y = 5$ を満たす x と y の値の組を座標平面上に表していくことで, グラフは直線になることに気づいたり, その直線の式が $ax + y = 5$ を, y について解いた式 $y = -ax + 5$ になることを確かめる活動を行う。 ・可能な範囲で, 実際に数え, 試行回数が多いほど, 平均値に近づくことなどを実感を伴って理解できるよう工夫する。 ・形式的に平均を求めるだけでなく, 身近な資料の分布の様子などを調べることを通して, 資料の代表値としての平均の意味と役割について, 正しく理解できるようにする。

中学校「数学」B（主として活用に関する問題）

分類整理し，選択する

設問番号	出題の趣旨
1, 3, 5	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の情報を組み合わせてとらえ，与えられた情報を分類整理することができる。 ・情報を整理し，比較することができる。 ・日常的な事象を理想化したり，単純化したりして，その特徴をとらえることができる。

特に，設問3（3），設問5（2）（3）は課題があり，無答率も非常に高い。
 与えられた情報を分類整理することに加え，必要な情報を適切に選択できるよう，与えられた条件を見つけ出し，求めた解答が問題場面や条件に合っているかを確かめる学習などを工夫したい。

指導の重点	留意点
<p>情報の選択や判断に，数学的な知識・技能などを活用できるようにする。</p> <p>条件を整理して解決への見通しをもてるようにする。</p> <p>根拠にもとづいた結論を整理して説明できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の目的に応じて，情報の整理に樹形図や表を活用するなどの方法を選択したり，条件を満たす組合せを考えるために，表の整理の仕方を考えたりするなど，情報の整理の仕方を工夫する機会を設定する。 ・問題に含まれる条件などを明らかにし，整理して，解決への見通しをもてるよう指導を工夫する。 ・課題解決に当たり，話し合いを通じて，常に，その根拠を示すよう，その機会を工夫する。

物事を観察し，的確にとらえる

設問番号	出題の趣旨
2, 3, 5, 6	<ul style="list-style-type: none"> ・自然数の性質に関する説明を読み，文字式の意味を読み取ることができる。 ・与えられた情報を読み取り，的確に処理することができる。 ・日常的なことを理想化したり，単純化したりしてその特徴をとらえることができる。 ・必要な情報を読み取り，事象を数学的に解釈することができる。

基本的な計算方法を確実に取得するとともに，必要な根拠とその示し方，説明の順序を理解し，構想を立てて説明できるようにすることが大切である。

指導の重点	留意点
<p>説明文から，文字式の意味を多様に読み取ることができるようにする。</p> <p>日常的な事象を理想化し，単純化して数学的に解釈できるようにする。</p> <p>日常的な事象の考察のために，表やグラフを活用できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連続する2つの奇数の和について，nを自然数とすると $(2n - 1) + (2n + 1) = 4n = 2 \times 2n$ となることから，その和が「4の倍数になる」ことや，「偶数になる」こと，「2つの奇数の和が偶数の2倍になる」ことなど，文字式の読み取りを柔軟にできるように指導する。 ・実験や観察を通して得られたデータについて，理想化したり，単純化したりすることで数学の問題として，とらえることを経験させる。 ・生徒が身近な日常的な事象を表やグラフに表現したり，表やグラフから事象を数学的に解釈したりするなど，事象と表やグラフを対応させて考える活動を取り入れることが大切である。 その際，表を使って表された数値をグラフ化することで，比較していることがらが分かりやすくなるなど，グラフのよさを実感できるようにする。

物事を論理的に考える

設問番号	出題の趣旨
2, 3, 4	<ul style="list-style-type: none"> ・連続する自然数についての説明を読み,それを振り返り,発展的に考えることができる。 ・問題解決のための構想を振り返って改善することができる。 ・誤りを指摘し,筋道が通るように書き直すことができる。

特に,証明の中の誤りを正しく書き直すことに課題があり,証明の不十分なところや誤りを指摘し,よりよい記述や正しい表現の仕方について考える学習などの工夫が大切である。

指導の重点	留意点
<p>問題の条件を変えるなどして,発展的に考えられるようにする。</p> <p>問題解決のための構想を立て,結果を振り返って改善できるようにする。</p> <p>証明を見直して,改善できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・条件を変えて考察の範囲をさらに広げるとどうなるかなど,発展的に考えるための視点を示し,生徒自らが新たな性質を発見できるようにする。 ・文章題から方程式を立式する場面や図形の論証の場面などで,題意を的確に判断し,与えられた条件を目的に応じて整理し,解決までの方針を立てる習慣を身に付けるようにするとともに,方程式の解き方を見直したり,証明をした後,証明を見直し,よりよい証明を考える機会を設定する。 ・証明のもとになる公式等をしっかり理解するとともに,生徒同士が互いの証明を評価し合い,よりよい記述や表現の仕方を考えて,証明の学習に取り組むようにする。

数学的に考え，表現する

設問番号	出題の趣旨
1, 5, 6	<ul style="list-style-type: none"> ・ことがらが成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することができる。 ・ことがらの特徴を的確にとらえて説明することができる。 ・2つのことがらを比較して判断し，その判断の理由を説明することができる。

特に，時間や距離，傾きなどをグラフから読み取り，どちらが早いかを判断し，その理由を説明することについて課題があり，説明に必要な数量を見通しをもって，グラフから読み取ることができるようにすることが大切である。

指導の重点	留意点
<p>ことがらが成り立つ理由を，数学的な表現を用いて適切に説明できるようにする。</p> <p>問題解決のために数学を活用する方法を考え，説明できるようにする。</p> <p>数学的な解釈を根拠として理由を説明できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文字式を用いた説明や図形の論証の学習場面に限らず，数学の学習全般にわたって，ことがらが成り立つ理由を説明する学習場面で，ことがらの根拠と，それによって説明される結論の両方を述べる機会を意図的に設定する。 ・具体的な方法を示し，それを用いて解決させるだけでなく，様々な方法で解決できないかを検証する学習を取り入れる。 ・速さを比較する場合に，説明することがらの根拠がグラフのどの部分にどのように表されているかを読み取ることが大切である。たとえば，距離をそろえて時間を比較する，時間をそろえて距離を比較する，速さを計算して比較する，傾きを比較するなど。